



公益財団法人
加古川市国際交流協会
Kakogawa International Association

広報

2014.10
vol.26

Public
Information

CONTENTS

2014年度前期 国際交流事業紹介 2-3

ワン ドロップ
特集 OneDrop とバングラデシュ 4-5

お知らせ 6



上から
外国人のための日本語講座
青年海外派遣「日本庭園にて」
中学生海外派遣「学校訪問」

上から
なつまつり
鶴林寺茶会

国際交流事業紹介

4月 外国人のための日本語講座 開講 (4/11～)

開講21年目を迎える本講座には、近隣在住の外国人約40名が在籍しています。各自のレベルに応じて初級・初中級・中級の3クラスに分かれ、ボランティア講師の指導のもと、意欲的に日本語を学んでいます。生徒たちの国籍や年代はさまざまですが、楽しく和気あいあいと授業に取り組んでいます。



5月 語学講座 開講 (5/18～)



今年度は、初級英会話・中国語会話入門の2講座を開講しました。

<初級英会話>

幅広い年齢層の受講生8名が在籍する本講座では、オーストラリア出身の講師による和やかなレッスンが実施されています。

<中国語会話入門>

本講座は、はじめて中国語を学ぶ人を対象として開かれました。日本語にはない独特の発音に苦労しながらも、6名の受講生が中国語学習に励んでいます。

4月 鶴林寺茶会参加 (4/29)



当協会で日本語を勉強している外国人と講師の30名が、鶴林寺で行われた茶会に参加しました。慣れない作法や正座に苦戦しながらも、美味しいお茶と和菓子を味わうことができました。また、お茶をいただいた後は、国宝の本堂や太子堂を参拝し、日本文化や歴史にふれるよい機会となりました。

6月 はじめての国際交流 (6/28)

協会初の試みとして、市内在住の小学生と保護者50名を対象に開催された本イベント。今回は、5名の兵庫県国際交流員（アメリカ・フランス・オーストラリア・中国・韓国出身）をお招きし、各国の生活や文化について紹介していただきました。さまざまな写真やクイズを交え、韓国の民族衣装・チマチョゴリの試着やフランス語ミニ会話講座なども体験し、各国に対する興味や理解を深めました。



7月 なつまつり (7/13)

当協会では日本語を学ぶ外国人に日本の夏を楽しんでいただくため、「なつまつり」を開催しました。願い事を記した短冊を笹の葉に飾り付け、浴衣や法被に着替える人もいました。参加者が持ち寄った各国の料理を囲んで楽しく会食した後は、輪投げやビンゴゲーム、盆踊りで盛り上がりしました。



8月 第24回加古川市中学生海外派遣(8/16~8/25)

市内の中学生10名が、姉妹都市ニュージーランド・オークランド市を訪問しました。学校訪問では、現地の生徒と一緒に授業を受け、日本の学校との様々な違いを発見しました。副市長への表敬訪問では、派遣生達は先住民族であるマオリの歌「ポカレカレアナ」を披露しました。

また、ホームステイでは、慣れない環境での生活やうまく英語でコミュニケーションがとれないことから、最初は不安でいっぱいだった派遣生ですが、6日間をともに過ごしたホストファミリーとお別れのときには、涙を流しながら再会を約束する姿も見られました。

最後に立ち寄ったロトルア地区では、ダンスショーに参加したり、伝統料理であるハンギ料理を食したりと、マオリの歴史や文化へ理解を深めました。また夜には、無数に輝く星空を見上げ、そのあまりの美しさに言葉を失っていました。

今回の派遣での様々な経験や出会いを通じ、帰国時には、派遣生達はより一層たくましくなったように見えました。



8月 第23回加古川市青年海外派遣(8/10~8/21)



市内の青年6名が姉妹都市ブラジル・マリンガ市を訪問しました。長いフライトを終えマリンガ空港に到着すると、ホストファミリーに笑顔で迎えられました。滞在中はセズマール大学や福祉施設和順ホーム、加古川・マリンガ外国語センターを訪問し、日系人のお年寄りや児童たちとふれあいました。マリンガ市最終日の夕食会では、お世話になった方々に「ふるさと」を披露し、「炭坑節」を一緒に歌って踊りました。

4日間のホームステイを終えた後は、クリチーバ経由でイグアスの滝へ。水しぶきを浴びながら、世界最大の滝を間近に眺めることができました。リオデジャネイロでは、コルコバードの丘やサンバ会場を見学しました。サンバ会場では本場のサンバ衣装を試着し、カーニバル気分を味わいました。

そして、経由地のアラブ首長国連邦・ドバイでモスクや博物館を見学した後、日本へ帰国しました。



ワンドロップ
バングラデシュでの教育支援を手掛けるグループ「OneDrop」の代表・大西登志子さんにお話をうかがいました。

元中学校の英語講師で、現在協会主催の外国人のための日本語講座の講師も務める大西さんは、2006年に現地教員指導のためバングラデシュを訪れ、貧しい子どもたちの置かれた過酷な状況を目の当たりにしました。

貧しさゆえに学校へ行けず、路上で生活し、家計を支えるために働かざるを得ない子どもたち—そんな子どもたちが、「教育を通して将来の夢を抱き、よりよい大人になり、よりよい社会を築いていけるように」、大西さんは教育支援活動を始め、2010年に「OneDrop」を結成しました。

ワン ドロップ **OneDrop 主な活動内容**

①小学校の設立

首都ダッカから車で約3時間の地点にある町「コミッラ」に、現在小学校を建設中です（2016年1月開校予定）。
ワンドロップ
開校時には、OneDropの奨学生プログラムを利用し、短大まで進学した女学生が、先生として教壇に立つとのこと。

②奨学生プログラム（里親奨学金制度）

貧困などの理由から就学困難な意欲ある子どもと、学費を支援する「里親」を結び、サポートしています。

支援は1年単位で、月々の教育費は1,000～2,000円程度です（生徒の学校・学年などによって異なります）。

里親と子どもは、手紙やスタディツアーで交流できます。

③教育支援・スタディツアーの実施

年に2回、日本から希望者を募り、支援物資を携えてバングラデシュを訪問しています。



現地で英語の授業を行う大西先生

④日本国内でのイベント

写真展やバザー・民芸品展示の開催、講演会、募金活動などを行っています。

国際協力セミナー 参加者募集

今年度の講師は大西さんです。国際協力機構（JICA）のシニアボランティアとしても活躍された大西さんの様々な体験談を通じて、身近な国際協力について考えてみませんか。

<日 時> 平成26年12月21日（日） 午後2時～3時30分

<場 所> 加古川市国際交流センター 201号室

<講 師> 大西 登志子（おおにし としこ）氏

<内 容> バングラデシュでのボランティア活動体験談など

<定 員> 20名（先着順）

<参加費> 無料

<募 集> 11月5日（水）午前9時から電話にて申込み

加古川市国際交流協会 TEL079-425-1166



バングラデシュの子どもたち



コミッタの小学校建設現場（2014年3月）

大西さんは「多くの方にバングラデシュについて知ってほしい」と語ります。様々な支援に取り組む中で、多くの困難や苦労があったのでは？とたずねたところ、「良い出会いに恵まれ、順調にここまで来られたので、大変だったことは思い当たらないですね」と笑顔で話す大西さん。優しい眼差しがとても印象的でした。

ほんのひとしずく（OneDrop）^{ワンドロップ}、されどその一滴一滴がやがて大きな海となるという想いを込めて、大西さんの地道で着実な活動は続きます。



ワン ドロップ

バングラデシュってどんな国？

インドの東側に位置し、人口1億6千万人を有するバングラデシュ。かつては豊かな農業国でしたが、自然環境面での問題（洪水・土壌のヒ素汚染など）や政治的な問題を抱え、今では世界最貧国のひとつとされています（国民の約75%が貧困層で、失業率は40%超）。

義務教育は小学校の5年間ですが、貧しい家庭の子どもは学校に通えなかったり、中退したりすることが多く、教育環境も十分に整っていない状態です。

OneDrop 今後の活動予定（2014年）

- ・10月8日（水）～15日（水）：第8回スタディツアー
- ・11月24日（月）～30日（日）：イオン加古川2階K.S.Dギャラリーにて写真展

また、11月中に行われるイオン加古川店のフリーマーケットにも出店予定で、バングラデシュカレーの販売も実施するそうです。収益金は、小学校の建設費などに充てられます。

*詳しい活動・イベント情報は、OneDropのホームページをご覧ください。

【OneDrop ホームページ：^{ワンドロップ}<http://onedropbangladesh.jimdo.com/>】

独立行政法人国際協力機構（JICA）ボランティア募集

JICAボランティアは、途上国で世界の人たちと一緒に働き、お互いの技術、知識、経験を活かして国づくりに協力しています。また、ともに暮らすことを通じて、日本との交流の橋渡し役にもなっています。

現在JICAでは、右記の要領でボランティアを募集しています。

その他相談会等も随時実施しております。詳細については、下記へお問い合わせください。

	青年海外協力隊	シニア 海外ボランティア
年 齢	20歳～39歳まで	40歳～69歳まで
応募資格	上記年齢であり日本国籍をもつ方	
募集期間	年2回（春・秋）	
派遣期間	原則として2年	原則として1年

公益社団法人 青年海外協力協会 TEL:06-6375-2224

JICAホームページ <http://www.jica.go.jp>

JICA関西ボランティアページアドレス <http://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/volunteer/index.html>

平成26年度後期 講座のお知らせ

◆日本語教育ボランティア養成講座◆

当協会には、たくさんの外国人の方々から日本語学習の相談があります。

日本語指導に興味がある、又は現在指導をしているけれど、どのように教えたらいいのかわからないという方、この講座で教え方のコツを身につけてみませんか。

＜日時＞ 平成27年1月10日～3月7日 毎週土曜日（全9回）午後1時30分～4時30分

＜場所＞ 加古川市国際交流センター

＜内容＞ 初級レベルの日本語文法・構文のポイントを媒介語を使わずに教える方法を学ぶ。
また、模擬授業を行うことでより実践的な指導方法を身につける。

※詳細は『広報かこがわ12月号』にも掲載予定です。

■平成26年度後期 各種講座計画（予定）■

11月 第2回ふれあい国際料理講座（インドネシア料理）

12月 第3回ふれあい国際料理講座（タイ料理）

国際協力セミナー

年忘れ交流会

1月 日本語教育ボランティア養成講座

マリंगा市青年海外派遣団受入

2月 加古川市障がい者海外派遣（ニュージーランド・オークランド市）

3月 外国人のための日本語講座 スピーチパーティー

使用済みの切手・ハガキ等の回収

使用済みの切手、ハガキ、プリペイドカード（テレフォンカードなど）、インクカートリッジ、外貨コイン、飛行機の搭乗半券を回収しています。ハガキは書き損じのものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジア諸国の復興に役立てられます。協会まで持参いただくか、郵送してください。皆様のご協力をお待ちしております。

国際交流センター利用案内

●貸館時間・・・午前9時～午後9時（ただし、日曜日は午後5時まで）

●休館日・・・毎週月曜日（ただし、国民の休日等が月曜日にあたるときはその翌日）

●使用申込・・・利用希望日の2ヵ月前（休館日の場合はその翌日）から申込みを受け付けます。

（公財）加古川市国際交流協会 〒675-0017 加古川市野口町良野387-1

TEL 079-425-1166 FAX 079-425-0200

協会活動の紹介や参加者募集のお知らせを掲載したホームページを公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.city.kakogawa.lg.jp/hp/kokusai/index.htm>

E-MAIL：kia@city.kakogawa.hyogo.jp